

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		環境教室事業費 [親と子の環境教室事業]							
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 7	環境保全費	事業番号 3		
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	環境		課		環境公害		係	課長名	下村 和郎
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 8		
【施策名】 環境の保全						総合計画書 (ページ)	99		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市内在住の小学生とその保護者			→ 応募者数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	環境教室を通じて、環境について関心を持ってもらう。			→ 環境について学んだ人数					
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止とした。			→ 新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止とした。					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	24	25	0			
	成果指標	②の数値	人	24	25	0			
	目標	②の目標値	人	25	25	0			
目標値設定の考え方 見学先の許容人数等を考慮して、4市全体で100人とし、その数値を均等割りした。									
活動指標	③の数値	回	1	1	0				
3 経費	事業費(実績)		円	27,670	26,999	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	27,670	26,999	0			
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	15.5	15.5	0.0			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	65,100	65,100	0			
職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	92,770	92,099	0				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成3 年度						
	(2) 環境の変化		空堀川流域4市(武蔵村山市、東大和市、東村山市、清瀬市)で「空堀川水環境確保対策会」を組織しており、4市共同の環境啓発事業の一環として環境教室を開催している。 近年、環境問題は多岐に渡るため、水環境以外にも、自然環境、生物環境、エネルギー関係施設等の見学を行い、環境問題に対する関心を高めている。						

事業名称	環境教室事業費 [親と子の環境教室事業]			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 下村 和郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	環境教室実施の有無についての問い合わせがあった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
コロナ禍において、開催や参加人数について検討する。				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	安定した参加者数を確保し、また環境に対して、より関心を高めてもらうため、魅力ある見学先を検討する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	現状維持			
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
コロナ禍で開催した場合の感染症対策や参加人数の確保。また、環境に対して、より関心を高めてもらうため、魅力ある見学先を検討				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 環境の保全				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
コロナ禍での開催について、感染症対策をどうするか。また、見学先がある程度固定化しているため、新たな環境学習の場を探す必要がある。				